

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	ディーキン大学	氏名	
国名	オーストラリア	学籍番号	
留学期間	2019年 8月 ~ 2020年 6月	記入年月日	2020年 8月 4日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: Communication and Media			
科目名	ALC215 Global Media	科目名	ACC100 Communication in Everyday Life
授業内容	ネットが主流になっている現代社会において、メディアの役割をグローバルな視点で分析する方法を議論する授業です。	授業内容	人が日常的にコミュニケーションを行う際のメディアとの関係性を勉強します。
授業形式	ディスカッション中心。	授業形式	ディスカッション中心。
単位数	1	単位数	1
サイズ	20人程度のクラスです。	サイズ	20人程度のクラスです。
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	普通
宿題の量	なし	宿題の量	なし
コメント	少人数クラスなので、授業が進むスピードは速いと感じませんでした。しかし、先生がシンガポール出身の先生で、英語のアクセントが強かったこと、インターネットに関する専門用語も出てきたので、前もってパワーポイントの内容を把握するようにしていました。	コメント	大学1, 2年生向けの授業なので、授業以外のサポートもしてくれました。先生もとてもフレンドリーな方で、質問もしやすいです。
科目名	ALL260 Australia Literature	科目名	ASC206 Sociology of Health
授業内容	オーストラリア文学の概念や特徴を、歴史などと照らし合わせながら、指定の本を読んで議論していきます。	授業内容	オーストラリアの健康を中心とした社会問題について、勉強します。例えば、喫煙者はどの階層に多いのかや、白人とアボリジニーの平均寿命の違いとその要因などを学びます。
授業形式	ディスカッション中心。	授業形式	講義とディスカッションが1時間ずつあります。
単位数	1	単位数	1
サイズ	10~15人程度のクラスです。	サイズ	20人程度のクラスです。
難易度 Course No.	やや難しい	難易度 Course No.	普通
宿題の量	2週に一回のペースで課題図書があります。	宿題の量	なし
コメント	子の授業を進めていく上で、重要となるのがオーストラリア人の一般的な価値観や歴史の捉え方です。これを把握していないと、課題図書の一文一文の意味が全く異なってきます。海外との比較もしたいということで、私の意見もよく先生に聞かれました。	コメント	津田塾大学の国際保健論など健康に関する授業と、内容は似ていますが、中心となるのがオーストラリア社会なので、新たな視点を獲得することができます。先住民と移民の比較も行いますが、アメリカのそれとはまったく異なった現状が見えることもこの授業の魅力の1つです。

科目名	AIS101 Intercultural Communication	科目名	AGS101 Sex and Gender
授業内容	オーストラリア文化を基に、異文化コミュニケーションの概念を明確にし、必要なスキルや構成などを勉強します。	授業内容	オーストラリア史における、女性の社会進出の背景やセクシャルマイノリティの生活について勉強します。
授業形式	講義とディスカッションが別々にあります。	授業形式	講義とディスカッションが別々にあります。
単位数	1	単位数	1
サイズ	50人程(講義)、15人程(ディスカッション)	サイズ	40人程(講義)、15人程(ディスカッション)
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	普通
宿題の量	なし	宿題の量	なし
コメント	先生の話すスピードが時々早かったので、私は授業のパワーポイントに前もって目を通していました。 内容は、津田塾大学の異文化コミュニケーション論と重複するものもあったため、そこまで難しく感じることなく、楽しく勉強することができました。	コメント	歴史的な書物からの引用が多く、情報量も多いので、パワーポイントは何十ページにもなっており、予習は大変でした。 授業を受けている生徒自身もセクシャルマイノリティの方が多かったので、ディスカッションでは失礼な発言をしないように気を付けていました。彼らの話はとても刺激的で学ぶことが多かったです。
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>課題の文字数が多いため、進めることが大変でした。日本で課題をやる時に行っていた方法ですが、まずはフォーマットを大まかに決めて(第一段落には自分の意見を書く、第二段落では理由1を書く等)、それを各授業の先生にチェックしてもらっていました。授業でも課題の提出期限が近づくと、課題に関する質問を先生は受け付けてくれます。他には、一緒に留学していた津田塾生の方と勉強時間を設けたり、ルームメイトとリビングでお菓子を食べながら勉強時間を一緒に設けたりして、集中できるように工夫しました。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>MECに紹介していただき、オーストラリア在住の日本人等が通う日本語学校のボランティアを毎週土曜日に行っていました。私は小学校2年生のクラスの授業アシスタントや休み時間の交流を行っていました。塾のアルバイトの経験を活かして、生徒や担任の先生と信頼関係を築き、とても仲良くなれました。毎週日曜日には、中国人と韓国人の友達の紹介で、長老派教会に行っていました。日本人も多く通っていたため、日本食が恋しくなっている私に手料理を提供してくれたり、英語をしゃべる機会がもっと欲しいと伝えた時はオーストラリア人の友達を紹介してくれました。</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所</p> <p>大学の寮はMBとMCがあります。私はそのうちのMBに住んでいました。どちらに住むかは大学が決めます。どちらの建物も大学敷地内にあり、授業がある教室には、代替徒歩10分から15分で着くようなところにありました。</p> <p>設備についての簡単な説明</p> <p>MBには寮の受付があったため、24時間体制で、何かあればすぐに対応してくれます(近隣の部屋がうるさくて眠れない等のクレームや部屋の備品が壊れた時の修理、交換等)。また、ルームメイトの生活習慣が原因で精神的にストレスを得ていた時は、部屋を変える手続きを行ってくれました。タイミングが悪く部屋替えを瞬時にできなかったのですが、通常は対応が早いと評判です。</p> <p>部屋について</p> <p style="text-align: center;">6 人部屋 広さ 1部屋8 畳くらい</p> <p>ルームメイトについて</p> <p>後期は、ほぼ全員が女子生徒の部屋でした。インド人(女)、スリランカ人(女)、ロシア人(女)、日本人(私、男)、スイス人(男)です。女子たちは仲が良く、リビングで映画鑑賞会を行ったり、ご飯を一緒に作ったり、出かけたりもしていました。男子たちも声をかければ時々参加していました。</p> <p>寝具や生活用品の入手方法</p> <p>寝具は提携校留学生だからなのか、シーツや枕カバー等全て揃っていました。食器も基本的なものは、寮が貸してくれます。ルームメイトが共同で使うトイレトペーパーなども寮が支給してくれるので、分担で購入などの問題はないです。日用品や食品は、トラムで10分ほどのスーパーとホームセンターが併設されている所か、バスで25分ほどの大きなショッピングモールで得ることができます。</p> <p>生活の感想</p> <p>寮には、寮生だけ参加可能なイベントが多くありました。BBQパーティや屋外映画館上映などです。これらの参加費は基本的に無料だったため、私はルームメイトを誘って積極的に参加していました。みんな勉強で忙しく、娯楽施設がある市内へはトラムで1時間ほどかかるため、寮内または寮近辺で開催されるイベントは本当に私たちの気持ちをリフレッシュさせ、楽しいキャンパスライフを送れるきっかけとしてとてもいいものでした。</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>日本食品もアジアマーケットだけでなく、一般的なスーパーで手に入れることができるので、料理はやりやすかったです。外食は高いので、基本的に自炊を行っていました。大学内のカフェも高かったです。しかし、高い分、栄養バランスは備わっているイメージでした。自炊で節約をしていましたが、ルームメイトや友達からのご飯のお誘いには積極的に参加していました。ウーバーイーツ等でピザをデリバリーして、リビングで食べるのは週に一回ほどの頻度でありました。</p>

6	<p>医療保険についてお書きください</p> <p>渡航前に加入した保険 東京海上日動の海外旅行保険に加入しました。</p> <p>留学先大学にあった医療保険制度 津田塾大学からの案内で、Bupaにというものに加入していました。</p> <p>留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください) 受けていません。</p>																																													
7	<p>費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 20%; text-align: center;">(現地通貨)</th> <th style="width: 20%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡航旅費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">(往復で)140000 円</td> </tr> <tr> <td>帰国旅費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>引越し(往復で)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>保険</td> <td style="text-align: right;">AUD\$ 596.00</td> <td style="text-align: right;">44,700 円</td> </tr> <tr> <td>語学研修費</td> <td style="text-align: right;">AUD\$ 4450</td> <td style="text-align: right;">33,000 円</td> </tr> <tr> <td>留学先学費</td> <td style="text-align: right;">AUD\$ 15408</td> <td style="text-align: right;">1,155,600 円</td> </tr> <tr> <td>本学学費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">100,000 円</td> </tr> <tr> <td>教材費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>住居費</td> <td style="text-align: right;">AUD\$ 13930</td> <td style="text-align: right;">1,044,800 円</td> </tr> <tr> <td>食費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">30,000 円</td> </tr> <tr> <td>その他()</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">換算率 (<input type="text" value="AUD\$ 1"/> = <input type="text" value="75"/> 円)</p>		(現地通貨)		渡航旅費		(往復で)140000 円	帰国旅費		円	引越し(往復で)		円	保険	AUD\$ 596.00	44,700 円	語学研修費	AUD\$ 4450	33,000 円	留学先学費	AUD\$ 15408	1,155,600 円	本学学費		100,000 円	教材費		円	住居費	AUD\$ 13930	1,044,800 円	食費		30,000 円	その他()		円	()		円	()		円	合計		円
	(現地通貨)																																													
渡航旅費		(往復で)140000 円																																												
帰国旅費		円																																												
引越し(往復で)		円																																												
保険	AUD\$ 596.00	44,700 円																																												
語学研修費	AUD\$ 4450	33,000 円																																												
留学先学費	AUD\$ 15408	1,155,600 円																																												
本学学費		100,000 円																																												
教材費		円																																												
住居費	AUD\$ 13930	1,044,800 円																																												
食費		30,000 円																																												
その他()		円																																												
()		円																																												
()		円																																												
合計		円																																												
	<p>受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください 津田塾大学海外留学(派遣、受入)奨学金</p>																																													
8	<p>留学前の準備について教えてください</p> <p>日本から持参すべきもの ・お箸(調理用と食事用) ・アウター(1日で四季が楽しめるといわれているほどオーストラリアは寒暖の差が激しいので、春物のパーカーやジャケットなど調節しやすいもの) ・IELTS 対策本(ディーキンはIELTSの受験会場にもなっているので、スコアが欲しい人は持っていくことをお勧めします)</p> <p>留学前にしておけばよかったこと 就職活動のための準備(OGOB訪問など) IELTS 対策(理由は上記同様、ディーキンが受験会場になっているため)</p>																																													

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>学習面では、授業でのほかの生徒の学習スタイルに合わせるのが難しかったです。多くの生徒がPCで軽くメモを取るが、ただ講義を聞くだけです。先生の言葉を丁寧にパソコンで打ってしまった私はタイプ音が原因で目立っていたと思います。そのため、迷惑にならない程度にパソコンに打ち込み、そのほかはノートにメモをしていました。授業終了後にそれらをパソコンに打ち込んでまとめます。</p> <p>生活面では、ルームメイト以外交流できる人がいないことが悩みでした。そのため、日本語学校のボランティアや教会等に通っていました。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>学習面では、オーストラリアの文化や価値観、歴史など、日本での生活ではあまり馴染みのないことを勉強できたため、視野が広がったと思います。また、課題が難しいこともあり、ライティングスキルはもちろんのこと、情報収集の方法も得たと考えています。</p> <p>精神面では、これまで以上にタフになったと感じます。1人暮らしの大変さを実感し、一日誰ともしゃべらないことがあっても自分で生活を充実させる方法を身に付けられたと思います。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>現在、就職活動中です。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>「どんな状況も楽しむ」「とりあえずやってみる」を意識して留学に臨むこと。</p> <p>これは、高校と大学それぞれの年間留学の経験から大切だと学んだことです。留学における大変なことやつらいことは、人それぞれだと思います。つまり、留学を良い経験にするか悪い経験にするかは自分次第です。友達や家族は話を聞いてくれるかもしれませんが解決には致しません。なので、前向きに捉えること、とにかく何でもやってみることが本当に大切です。</p> <p>がんばってください。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p>



ルームメイトが私の誕生日サプライズを企画してくれた時の写真



都心部のお祭りに一緒に出掛けるほど、仲良しでした



日本語学校の生徒と。みんなすごく明るく元気で、学校最終日にはお手紙もくれました。